

星降る夜の日光

天地に通じる「祈りの場」それが日光



Illustration by Tateho Kitayama

華厳ノ滝ライトアップ

初開催!!

悠久の時を経て、今初めて姿を現す幽玄の滝

絵:長島 美津子

華厳ノ滝ライトアップ

日時 令和元年11月16日(土)~23日(土) 17:00~19:00

入場終了 18:45 ライトアップ終了 19:00 会場 県営無料観瀑台

オープニングセレモニー

日時 11月16日(土) 16:20~17:00 会場 県営無料観瀑台

日光国立公園の華厳ノ滝でライトアップ実施の許可が初めて下りた。30年前から地元を中心に漠然とした夢を語っていたが、2016年から奥日光の活性化を目的に本格的なライトアップ実施に向けて動き始めた。しかし、国立公園特別地域には多くの難題が立ちはだかった。それはとてつもなく高い壁だった。その作業の中で原点に戻れたような気がした。我々人間が国立公園に立ち入るとき、動物の住む森に入らせてもらうということを忘れてはいけないのだ。

初開催となる華厳ノ滝ライトアップを我々も森の生き物と共有したい。そして、日光の新たな光、この貴重な光を目に焼き付けてほしい。

中禅寺湖・天空の星空観賞タクシー
～東京スカイツリー®を探せ!

・11月2日(土)、3日(日)

栃木県立日光自然博物館開館時間延長

・11月16日(土)~23日(土) 16:00~19:00

中禅寺大鳥居ライトアップ

・11月16日(土)~23日(土)

立木観音五大堂ライトアップと千手観音の無料拝観

・11月16日(土)~23日(土)

中禅寺歴史ガイドツアー

・11月16日(土)、17日(日)、22日(金)、23日(土)

冬季通行止めのご案内

- 金精道路(国道120号線) 湯元温泉~群馬県片品村丸沼
令和元年12月25日(水)正午~令和2年4月24日(金)正午までの予定
※11月下旬からスタッドレスタイヤまたはタイヤチェーン着用の通行規制があります。
- 山王林道(林道奥鬼怒線) 光徳~川俣(噴泉橋)
令和2年4月下旬まで閉鎖中
- 中禅寺湖スカイライン(県道中宮祠尾尾線) 中禅寺温泉~半月峠
令和元年11月29日(金)正午~令和2年4月10日(金)正午までの予定

冬の服装・持ち物

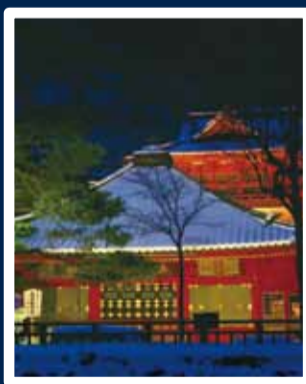
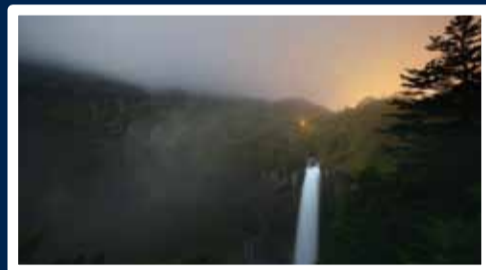
日光地域は半径15km程と狭い範囲ではありませんが、標高差が1000m近くあり、エリアごとに天候や路面状況が異なります。奥日光地域、霧降高原地域、横根高原は標高1300mを越え、冬季には積雪・凍結の可能性が高まりますのでご注意ください。

☑ 服装について

代表的な星の鑑賞地点の戦場ヶ原は、夜間には零下15度を下回り、20度に達することも珍しくありません。厚手のダウンジャケットや、手袋、耳の隠れる帽子、防寒ブーツ、すべり止め等をお持ちください。

☑ 防寒アイテムについて

星が綺麗に見える場所・天候条件は、放射冷却が生じやすく、夜間には著しく冷え込みます。保温ポット、カイロや毛布などがあると、より良いです。また、星空を表示するアプリもあるので、ダウンロードしておいたり、8~10倍程度の双眼鏡があると、楽しみ方が一層広がることでしょう。星空やライトアップを楽しんだあとは、宿に戻りゆっくりとお寛ぎください。



イベントの詳細情報はこちら
<https://www.kegonfall.org>

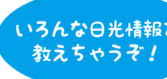
交通情報配信中!

日光仮面の公式Twitterアカウントで交通情報をリアルタイムで配信中!

日光仮面の公式Twitterアカウントはこちら▼



@55nikkokamen



いろんな日光情報をお知らせします!

日光と星の結びつきについて

星と日光は大変深い関係がある。その話は、日光開山の僧、勝道上人(しょうどうしようにん)から始まった。日本で一番古い山岳開山説になるが、上人が七歳の時、夢の中に明星天子(みょうじょうてんし)が現れ、日光開山のお告げを受けたという。

そして明星天子を祀ったのが神橋近くの「星の宮」だ。ここから「星の宮」の分かれである日光の鎮守様、磐裂神社、虚空蔵尊はもとより栃木県内にも「星の宮」が多く祀られたといわれている。

日光は江戸(東京)から見ると真北に位置し、日光東照宮陽明門の中央真上に北極星が輝く。東照宮を拝礼するとき北を向いて拝礼すること、すなわち宇宙の最高神と考えられた北極星を拝礼する。徳川家康は、己を日光に祀ることで北極星として君臨し、世の中が平和であることを願っている。

山内配置の縮図

山内に広がる社寺の配置が、星座の「オリオン座」と一致する。「三代将軍・徳川家光が星に託した幕府存続への願いが秘められている」なぜ星座になぞられているのか、学問的裏付けはないが、そこには深い理由がきちんとある。不思議な配置の数々から見えてくるものは何か、星々に導かれ、天地に通じる「祈りの場」それが日光。澄んだ星空にあなたの思いを映してみては。



★夜の日光をより楽しもう!

星降る夜の日光 WEBサイト公開中

日光市内の星座スポット、ライトアップイベントの詳細情報を「星降る夜の日光」の公式WEBサイトにて公開中! その他にも楽しみ方が一層広がる「日光と星の結びつき」や、「山内配置の縮図」などをより詳しくご紹介。夜の日光へお出かけする際には是非お役立てください。

星降る夜の日光WEBサイトはこちら
<https://www.star-nikko.org>



★100名様にカード型オリジナル爪磨きをプレゼント

#星降る夜の日光 Instagram 投稿キャンペーン

- Step1 「星降る夜の日光」公式Instagramをフォロー
- Step2 「#星降る夜の日光」をつけて夜の日光での素敵な写真を投稿する。

当選者へはInstagramのダイレクトメッセージにてご連絡します。

※投稿された写真は、星降る夜の日光公式WEBサイトに掲載される場合があります。
※投稿データその他の投稿内容を応募者の事前の承諾なく転載、複製、編集、加工し使用する場合があります。
※その他の規約、詳細につきましては、星降る夜の日光公式WEBサイトをご覧ください。



湯元エリア

日光山温泉寺

湯元温泉は、日光開山の祖・勝道上人が発見し「薬師瑠璃光如来」様をお祀りしたのが始まり。上人が険しい山々を越えて湯元温泉に辿り着いた時には、身も心も疲れ果てていたにちがいない。そして、湯気が上がるこの地を発見した時の喜びは幾何なものであったか。満点の星空の下、木々の音を聞きながら温泉に身を沈める姿が目に見える。

湯元スキー場 湯ノ湖畔

日光で最も標高の高い湯元に降る雪の特徴としては、北海道と同質のパウダースノーが降り積もる。寒い土地だからこそ出会える星と雪のコラボレーションが味わえる。

戦場ヶ原展望台 (三本松駐車場)

戦場ヶ原の星空は関東屈指の美しさと称賛されている。理由は、光害の影響が少なく周囲にも明るい照明の建物がない。頭上に輝く星々は、まるでアニメの中に居る感覚。



日光エリア

表参道

1652年から「日光火の番」として日光東照宮を中心とした日光山輪王寺、日光二荒山神社の境内及び町内の防火を「八王子千人同心」が警備にあっていた。家光も天海も親っていた。歴史的建造物群に囲まれた星々、400年の時を経て今も変わらず見ることが出来るのは、この建物を大切に守ってきた人々がいたからだ。

大谷川河川敷

大谷川河川敷から上流を見ると、2000mを超える日光連山が鎮座する。大谷川は、華厳ノ滝から始まり、激流の華厳渓谷を経て日光市内を流れる頃には水も穏やかになる。心地良い川のせせらぎを聞きながら星空を観てみると、天の川と大谷川の競演が始まっていた。

小太郎坂

日光から小来川へ通じる道の途中にあり、坂の上から日光駅周辺を中心に夜景が綺麗に見える。日光山の開祖、勝道上人は、小太郎坂を通して日光に入り神橋へ向かった。ここで満点の星空を観て何を思ったのか。



天地に通じる 星空スポット

霧降エリア

霧降高原キスゲ平園地

夜景と星空を一望できる隠れた人気スポット。また、戊辰戦争の際、旧幕府軍の大鳥圭介と新政府軍の板垣退助は、日光市野口十字で戦い、その日の夕刻には大鳥軍は霧降から会津へと向かい六方谷の谷底に仮泊した。見上げた小さな空に輝く星に一縷の望みを託したかもしれない。



奥日光湯元温泉 雪まつり

期間 令和元年度「冬」
会場 奥日光湯元温泉

詳しくは、奥日光湯元温泉旅館協同組合 オフィシャルサイトをご覧ください。



わたらせ渓谷鐵道 各駅イルミネーション

期間 令和元年12月1日～令和2年2月29日
時間 17:00～各駅最終列車通過まで
会場 間藤駅・足尾駅・通洞駅・原向駅 他



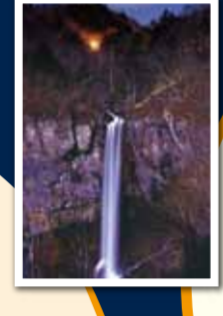
ライトアップ大猷院

期間 令和2年3月20日 21日 22日 27日 28日 29日



華厳ノ滝ライトアップ

期間 令和元年11月16日～23日
時間 17:00～19:00 会場 県営無料観瀑台
オープニングセレモニー
日程 令和元年11月16日
時間 16:20～17:00 会場 県営無料観瀑台



ライトアップ日光

期間 令和元年11月8日～10日
時間 17:00～21:00
会場 世界遺産「日光の社寺」
・日光東照宮
・日光二荒山神社
・日光山輪王寺



小来川ライトアップ2019

期間 令和元年11月1日 2日
時間 18:00～21:00
会場 ・ふれあいの郷 小来川 (メイン会場)
・ウズマンスビレッジ
・円光寺
・黒川神社



中禅寺温泉 カマクラまつり

期間 令和2年2月8日 9日
会場 日光自然博物館前広場



小来川エリア

ふれあいの郷 小来川

日光山の開祖、勝道上人は、小来川に庵を構えこの地から鶏鳴山(けいめいざん)に登っては眼前に広がる日光連山を眺め開山の計画を立てたと伝えられている。鶏鳴山越しに見える星から、1200年前の仙人に思いを馳せてはいかが。



中禅寺エリア

歌ヶ浜第一駐車場

奥日光には、男体山と赤城山(群馬県)の各々の神が領地を争って戦った戦場ヶ原の神戦伝説がある。戦いの最後は、男体山の神の孫にある弓矢の名人「小野の猿丸」が相手の左目を射抜き勝利し、歌ったところから歌ヶ浜の名前が付いた。戦いを終え、疲れ果てた体に静かな波音は癒しを与え、湖面に映る月や星々は賛美的な美しさとなつたにちがいない。

大平

第一いろは坂の入り口にある大平には、明治初期まで女人牛馬禁制で、女性や牛馬は坂を上ることが出来なかった。時代を経て、初めてここに辿り着いた女性達は、空を観て何を思ったのだろうか。

西六番園地

長崎のクラバー邸で知られる「トマス・グラバー」が所有していた別荘跡があり、当時の暖炉と煙突がそのまま残っている。また、三代将軍、徳川家光は中禅寺湖を雪波湖(せきろこ)と名付けた。雪が舞う頃、ここから見る満点の星空は、冬の厳しさとともに美しさも見逃せない。

第二いろは坂 黒髪平

上り第二いろは坂17カーブを過ぎたところに有る黒髪平は、日光市街と関東平野を望める。地元の人々があまりにも星が綺麗で立ち止まるポイントだ。

明智平

名付けたのは、天海大僧正(てんかいだいそうじょう)と言われ、天海は、明智光秀という説がある。光秀は、自分の名を残したと、日光で一番眺めよいこの地を「明智平」と命名したと伝えられている。関東平野を一望できる明智平には、星空はもちろん朝日のスポットとしてもオススメだ。



足尾エリア

砂防堰堤～渡良瀬川源流の碑付近

渡良瀬川源流はその昔日光開山の勝道上人が修業した地の一つで関東平野を潤す水の宝庫の一つ。時に悪魔に手を貸したことも…今では母なる大地(植樹)に開眼させられ女神に化身。ここから天空を眺めれば貴方にも聖なる心が蘇るかも!?

龍蔵寺～境内

秀吉も家康も門前日光社寺周辺と足尾村を寄進したと云われる特別な場所。輪王寺末寺龍蔵寺に立てば日光山のパワーを受け貴方の願いが叶うかも!?

古河橋～古河橋上

足尾銅山の産業遺産古河橋は現存する日本最古の道路用鉄橋で国の史跡。橋の上に立って往時を偲べその強靱な揺るがない精神を貴方も手に入れることが出来るかも!?

横根山～勝雲山パーキング

中禅寺湖とほぼ同じ高さから条件が整えば、関東平野を一望できる。勝雲山パーキングは天空にたくさんの飛行機が行き来成田・羽田空港の発着も展望出来る場所。ハート形の渡良瀬遊水地が貴方のハートを射止めるかも!?

